政策コメンテーター報告（第2回、意見照会期間：2014年9月24日～10月6日） 鶴田　欣也：鶴田石材株式会社代表取締役社長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向		悪くなっている	全国中央会の「中小企業月次景況調査」（8月末現在）によると、9指標中8指標が悪化した。景況DIが－5．9ポイント、売上高DIが－9．1ポイント、収益DIは－4．9ポイントと主要3指標がいずれも7月末と比べマイナスとなっている。天候不順・台風による影響が顕著にみられ、売上高の悪化幅が大きい。消費税反動減からの回復力に力不足の感があり、円安等による原材料高・燃料高、電気料金の引上げ等の影響により、価格転嫁が容易でない中小企業にとって、収益状況は悪化傾向にあり、全体的に厳しい経営状況にある。
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(6月下旬から7月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		
1-2	今後の経済のリスク要因（第1回時点と比較して変化がある場合）、あるいは将来への新たな期待要因について、300字以内でご記入ください。	－	・急激な円安の進行 ・活火山を観光資源とする観光地の消費低迷 ・イスラム国の台頭によるテロ頻発、アフガン情勢等による経済停滞懸念 ・台風による観光キャンセル等消費行動の消極化の広がり ・原発再稼働の審査が長引くことによる電気料金再引上げへの懸念と将来不安 ・新たな期待としては、円安定着の影響もあり海外からの観光客増による需要拡大
経済再生と両立する財政健全化		－	社会保障の重点化と効率化の徹底が前提。消費税に複数税率を導入することにより社会保障の財源に穴を開けてはならない。法人税率引下げは好循環に効果が見込まれるが、その財源は中小企業への増税でということでは改善の兆しが見え始めた地域経済に大きな打撃となり絶対に反対である。加えて、中小企業の設備投資を促す補助金・税制の縮小も好循環に急ブレーキをかけるものと考える。施設の集約化等ハード面と一体となった共助の醸成や連携・共同化等のソフト面からの成長推進が重要である。
2	財政健全化に向け、歳出削減等を始めとして様々な取組が考えられますが、具体的取組内容についてのお考えを300字以内でご記入ください。		

政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2014年９月24日～10月６日） 鶴田　欣也：鶴田石材株式会社代表取締役社長

質問事項		選択式回答	記述式回答
女性の働き方に中立的な税制・社会保障制度等の在り方			
３－１	どのように女性の働き方に中立的な社会制度を実現していくべきとお考えか、その理由とともに300字以内でご記入ください。	－	様々な所得控除を含め税制が女性の社会進出に影響を及ぼしていることは否定できない。短時間のパート雇用を望む企業やパート労働を望む女性も多く存在することから、多様な選択肢を用意すべきである。 企業はまず賃金で従業員に報いるべきであるが、そうなると社会保険（健康保険・厚生年金保険）保険料の上昇により大幅なコスト増となる。社会保険の適用範囲については中小企業に配慮をいただきたい。併せて自助努力制度の充実（例：確定拠出企業年金制度の充実等）を是非検討いただきたい。
３－２	女性の働き方に中立的な制度を論じるに当たって、その背景にある事項（女性が働くことへの人々の意識や職場慣行、男性の働き方、子育て支援等の環境整備、家族のあり方等）について、特に言及すべきことがありましたら300字以内でご記入ください。	－	女性の働き方に中立的な制度を実現していくためには、子育て、・介護への対応も並行して進めていく必要がある。そのためには、子育て支援等のハードとともに、男性中心の日本の雇用慣行（ソフト面）の考え方を変えていく必要がある。経営者もこの点をよく理解して経営に臨む必要がある。さらに、子育てだけでなく、介護も限られた人員でやりくりしている中小企業にとっては大きな課題である。従業員が子育て・介護しながら安心して働くことができるよう、これらの課題の解決にも取り組んでいただきたい。 また、税制と社会保険制度の一体改革に際し、個人と家庭のあり方についても検討すべきである。